

令和3年度第2回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 令和4年2月2日（水）10時00分～11時40分
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者 【委員】石原委員 岩瀬委員 大風委員 太田委員 大塚委員 尾崎委員
梶山委員 黒川委員 三井委員 頼富委員
【市】向井審議監 中野総務部長 総務部政策課 間嶋課長
矢野課長補佐 原田副主幹
【委託業者】(株)ぎょうせい
【傍聴】なし
- 4 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議事
(1) 市民アンケート、中学生アンケート調査結果について
(2) 第2次さぬき市総合計画後期基本計画 序章（案）について
(3) 今後のスケジュールについて
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 さぬき市まちづくりアンケート報告書
資料2 さぬき市まちづくりアンケート報告書別冊
資料3 さぬき市まちづくりに関する中学生アンケート報告書
資料4—1 さぬき市まちづくり【市民】アンケート調査／単純集計結果
資料4—2 さぬき市まちづくりに関する【中学生】アンケート調査／
単純集計結果
資料5 第2次さぬき市総合計画後期基本計画序章（案）
資料6 中期基本計画の施策体系
資料7 2020（令和2）年度中期基本計画基本施策別目標指標達成率一覧
別紙1 市民アンケート・中学生アンケート調査結果意見書
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	<p>(10:00) 皆さん、おはようございます。</p> <p>本日は御多忙の中、令和3年度第2回さぬき市総合計画審議会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、中澤委員からは欠席のご連絡をいただいています。</p> <p>当審議会の会議の公開 非公開についてでございます。当会につきましては公開することとしておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本日の傍聴はご遠慮いただく旨のご周知をさせていただいております。</p> <p>それでは、梶山会長よりご挨拶いただき、そのまま議事の進行にお移りくださいますようお願いいたします。</p>
会長	<p>(会長挨拶)</p> <p>それでは、議事を進めます。</p>

	<p>まず、本日の会議ですが、12時00分を目途に終了したいと考えておりますので、御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議題1「市民アンケート・中学生アンケート調査結果について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(事務局説明)
ぎょうせい	(ぎょうせい説明)
会長	ただいまのご説明に関してご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。
委員	アンケートのサンプル数について、信用度はどのくらいか教えてもらいたい。報告は、もう少し要点を絞って説明してもらいたい。40分使うのはもったいないと感じた。会議は意見交換の場になるとよい。
ぎょうせい	<p>アンケートは1,288件回収できています。統計的には500~1,000サンプル、おおむね800サンプルあれば意味のある数字となります。1,000を超えて2,000、3,000サンプルを取っても、あまり精度は変わらないので、バランスの取れた数だと考えています。</p> <p>説明時間については申し訳なかったのですが、年齢別や相関関係について、分かってもらいたいと思ったため、40分も時間を費やしてしまいました。そこをご理解の上、今後の審議に生かしてもらえたらと考えています。</p>
会長	他の自治体と比べて、突出しているような部分はあるか。
ぎょうせい	<p>さぬき市の特徴は、中学生アンケートにもあったように「自然環境がよい」「景観がよい」「人が優しい」が上位に上がっている点です。こういった項目が上位にあるのは、そんなになかったように思います。</p> <p>他の自治体の市民アンケートでは、高齢者福祉や地域医療体制の整備が上位に上がることが多くあります。一方、さぬき市は企業誘致や雇用の場の確保、定住促進といった、人の流出をどう止めるかの意識が高いと感じました。</p> <p>今、ほかの自治体と数値的に比較した話をはっきりとはできませんが、様々な自治体のアンケートを経験した印象からは以上です。</p>
委員	アンケート内容について、他の自治体でもこんなに多くの質問をするのか。
ぎょうせい	おおむねこの程度です。
委員	自分でも答えてみたら、最後の方は頭がクラクラして、考えるのが面倒くさいと感じた。
ぎょうせい	ボリュームがあり、細かく項目別に満足度を聞いているので、大変だったと思います。ただそこが一番重要で、聞きたい部分です。他の項目は事務局や市の考え方もあるため、ボリュームが増えました。回収率が良かったので安心しています。
委員	資料2について、事務局に尋ねたい。自由記述回答が約520件あるが、これらは総合計画にどのように反映されるのか。また問題提起をしている回答について、

事務局	<p>市役所内部の部署でどのように共有するのか、議会への対応について聞きたい。</p> <p>本日の会議が終了したら、市のホームページ、そして庁内のイントラネットで職員に公表する予定です。</p> <p>来年度の計画策定に当たり、今後参考にしてもらうようにします。総合計画では、それらの意見を含めた文言として出てくるかと思います。個々の意見に対して「こうします」といった回答的なものにはなりにくいかと思います。</p> <p>議会については、総合計画案をご審議いただきます。</p>
委員	<p>大変興味深くアンケートを見た。素晴らしかった。中学生のアンケート結果で、こういう形のものに参画したいという数字が高かったのは心強いと感じた。</p> <p>計画全部を「よーいドン」で始めることはできないと常々思っている。例えば資料2には、大型商業施設についてのコメントが幾つか見られる。しかし、実際に大型商業施設をつくるとなると、おそらく地元の小売店は全滅するだろうというように、いろいろな面があるので、事を進めるには順序や全体のスケジュール感を持ってやる必要があると感じる。</p> <p>限られた財源なので、行政は集中と選択で「まずここにお金を投下する。それが実現すれば、次にはここを進める」というのを住民に説明すべきだ。水産業、農業、介護、福祉、医療・・・全てとなると、財源の割り振りが薄くなり、どっちつかずのものになる。資料1の40ページには、各施策の重要度と満足度の相関図という面白いデータがあるが、重要度・満足度共に高いBから重要度や満足度の低いCやDに落ちていくものも出てくる。優先度や順序を考えてもらいたい。</p> <p>予算の使い方として、例えば資源ごみは、現在、業者に費用を払って収集してもらっているが、指定場所に持って行けば換金されるルールにするというものもある。たしか坂出市では、ごみの分別が浸透する以前より自治会で分別をし、それに対して市が自治会に年間30万円くらい支払う。自治会はその費用を環境整備などに充てていた。また、交通網については、もっと充実させる必要性を感じているが、今でも3,000万円近い赤字を出しているのに、充実することでさらなる赤字を生み出してしまふ。充実した交通網にして年間1億円の赤字を出すことがよいのかという話になる。個別の意見は尊重されないといけませんが、全部に満足させるというのは、とてもできない。何に財源を投下するかだ。</p> <p>今回計画を策定するに当たり、具体論に落とし込んでいく中で市民や民間企業含めて連携できればと考える。「そういうことのできるさぬき市は素晴らしい市」というのは、キーワードの一つになりうるのではないか。市は民間企業に「こういうスタンスでやってもらいたい」と希望を投げ掛けてくれてもよい。先ほどの資源ごみの話だと、企業に指定場所を作り、社員がごみを自宅から持ち寄ってそこに捨て、収集車が来るのもよい。さらに、施策も連携しきれていない。1つの施策が3つの何かに連携し、3つができればさらに2つ3つの施策が連携するようなスキームを作ってもらいたい。市で難しければ、外部ブレーンを使って、全部の施策がどういう形で作られているかを明確化すると、優先順位やスケジュール感がもう少し全体として明確になるような気がする。</p>
事務局	<p>具体的なことや予算の配分については、基本計画策定の後のことになるかと思いますが。基本計画に沿った内容の実施計画、予算立てになるかと思います。</p>
委員	<p>私は雇用の受け皿として、事業を伸展させて従業員を受け入れる、増やす責任という使命感を持ち合わせている。そして個人的には、地域で就労場所があるということ悪くないと思う。</p>

	<p>一方である意味では、ここは徹底的に住みやすい、生活コストが安いというのは一つのコンセプトになるような気がする。「就労は高松市でもどこでも行ってください、しかし、ここは住むことに関しては徹底的に住みやすいんです」ということだ。例えばリニアが開通すれば、名古屋と東京が40分でつながる。そうなると勤務地東京、居住地名古屋というのも時代的には有りとなる。さぬき市なら東京まで、事前に入る時間も含めても2時間あれば行けるので、普段はテレワーク、週2回東京に行かなければならないなら、飛行機で行けばよい。「生活コストがとても安い」というのは一つのキーワードになるのではないか。</p> <p>必ずしも企業誘致や大型商業施設誘致ではない。大型商業施設は交流人口が増えるが、地域経済にとって必ずしも喜ばしいことではない。30～40年前、橋や空港、高速道路ができたならよくなるというので全部できたが、地域はよくなっていない。幻想だった。インフラが整備されたら、距離の時間軸が短くなり、地元にいなくてもいいとなった。四国新幹線ができれば、もっとひどくなるだろう。</p> <p>とはいえ、世の中がそのように動いているので、地方自治体は其中でどのように良さを出すのかだ。都市化に向かうのは逆行するような気がする。アンケートで「住みやすい」「自然が豊か」という結果があったので、そこを特色として出しながら展開する。レジャーやレクリエーションも必要かもしれないが、遊ぶところは遊ぶところ、ここは住むところと切り分けて考えてみるのも必要ではないか。さらに、地域性として関西圏に近いというのものもある。</p> <p>それぞれ好みがあるから、全ての人を集めることはできない。限定されたターゲットに響く施策が求められているような気がする。</p>
会長	<p>アンケート結果の最後の説明でもあったが、住んでいる人自身が、さぬき市が将来継続的に地盤沈下するのではないかという風な思いを何となく抱いているような気がする。それに対してどう対応するかが行政の判断、決断だと思う。今このような要望がある、行政としては地盤沈下させないということで考えていくのが一つのやり方としてあるのかと、個人的に思った。</p> <p>何か新しい施策をやろうとすると、既得権益との戦いになる。利益を得ていたところからは絶対反対が起きる。全て了承するとはならない。そこは行政、市長の覚悟だ。変革している自治体としていない自治体は明確で、改革している自治体は、トップが覚悟している。その覚悟をさぬき市が示せるかどうかだが、何となく懐疑的に思っている。香川県の中でもさぬき市のある東側と西側は随分違う。私は名古屋に家があるよそ者なので、よく分かる。ここは地盤沈下するしかないのかという気持ちさえ持っている。それに対して、トップがどうするのかをまず言わないと、動かないような気がする。反対を抑え込めるかどうかだ。アンケートをとって、施策があるが、希望というのは大体そんなものだ。その後どうするかは、行政の肩に掛かっている。</p> <p>先ほど、さぬき市だけの特徴があるかと聞いたのも、そういうことだ。特徴を大事にしながら、大部分は「そうなんだなあ」というものだ。</p>
委員	<p>そういうことだ。民間が主導でやることもあるが、行政側がどれだけ規制を外せるかということだと思う。資料2の8ページの大川地区の女性30代の意見もある。</p> <p>丸亀町商店街の活性化は全部民間がやったが、行政は規制を全部取り払った。あそこまでになったら、総理大臣や日銀の総裁など皆が見に来る。日本で唯一の成功事例だと称賛されている。民間に委ねてやってもらうのもよい。行政の役割は、それをやる時に縛りを解いていくことが大事なキーワードだと思う。</p> <p>別の会議でも話したのだが、工場建設時の建ぺい率60%というのを、太陽光な</p>

	<p>ど、ある条件の下では、さぬき市は65%に緩和するというような条例ができる。消防の問題とかもあると思うが、それらを撤廃してできれば、他の自治体より優位になるのではないか。個人的には誘致の補助金よりも、3,000坪の土地に1,800坪の工場でなく、2,000坪の工場が建てられる方がメリットはある。</p> <p>規制を外すのは行政にしかできない仕事だ。そこを重点的にやりながら、市民や民間を巻き込んでいく。先ほど中学生の数字の高さを見て、心強いと感じたのは、そういうところだ。希望があるんだという気がした。</p>
会長	<p>続いて、議題2「第2次さぬき市総合計画後期基本計画序章（案）について」、説明願いたい。</p>
ぎょうせい	<p>（ぎょうせい説明）</p>
会長	<p>質問や意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>今後力を入れるべき施策のところで気になったことがある。</p> <p>40ページに住民と中学生のアンケート結果、共通点が記載されているが、ここにヒントが隠されていると思っている。大人は言っていないが、中学生は求めている声がある。共通していないのは「いろいろな仕事に就くことができるまち」だ。これが流出の原因になっているのではないかと感じている。アンケートの住み続けたくない理由1位は「働く場所が少ないと思うから」だった。雇用の多様化を中学生は求めているのが分かる。</p> <p>35ページで「雇用の場の確保と労働環境の充実」に触れている。ここが中学生の意見と関連するところだ。また32ページの表を見ると、Aの重点化・見直し領域、重要度が高いのに満足度が低く、力を入れないといけないうところに含まれる施策に「雇用の場の確保と労働環境の充実」は入っている。それなのに、40ページの文章には「基本計画から引き続き・・・」と書かれている。中学生の声もAも反映していない。引き続きやるのもよいが、修正すべき項目だと強く感じた。</p>
ぎょうせい	<p>中学生の意見を尊重すべきだと思っていました。働く場がないのは、出て行く大きな要因の一つになります。大学で外に出るのは仕方ありませんが、戻って来たい意識を高めるためには、働く場は大事だと思います。本編を考えていくときに十分に参考にしたいと思います。</p>
会長	<p>先ほど委員が話したように、いろいろな仕事に就くことができるとなると、企業誘致100%になるかという点だと思う。交通機関も含めて環境が変わってくる。どこの自治体も企業誘致というが、そうではない方法もある。さぬき市は自然も土地もたくさんある。その特性を生かした独自のものがありうるのかなと思う。地元の人に勤めることが雇用を提供することだけではないと思う。今はインターネットがあり、どこかに行かなくても世界中の相手と仕事できるので、何か工夫がないかなと思う。</p>
委員	<p>坂出市にある「番の州臨海工場団地」を勉強、研究されるとよい。県単位で企業誘致を行ったが、坂出市の人口は減りっぱなしだ。団地で働いている人は市外に住んでいる。つまり、雇用の確保はキーワードの一つだが、それで人口はおそらく増えない。今年の市長選の際の新市長の主張もそれだった。</p> <p>先ほどの、中学生の意向としてそういう声があるのは尊重しつつ、プラスアルファ何か構えないと「さぬき市に住もう」につながらない。坂出市のように市外に住</p>

	<p>んで、市内の事業所に通うという構図は止まらない。車で30～40分通勤するのは問題ないので、このような構図になっているのだろうか。住んでもらうには何がそろわないといけないか、もう少し絞り込んだ方がよいと思う。</p>
会長	<p>続いて、議題3「今後のスケジュールについて」、説明願いたい。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>質問や意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>資料7の7ページについて、新型コロナウイルス感染症の影響で講演会や講座関係が実施できなかったの、何かしら説明を入れてもらえたらと思う。(23)にある家庭教育講座・講演会等参加者数の達成率43.6%をはじめ、低い数字になっているが、これまではこういった数字ではない。達成できていないのは気の毒だと思っている。誤解を招かないよう、そういう条件があつての数字であることが分かるようにしてもらいたい。</p>
委員	<p>ワークショップの曜日や時間帯は、いつを想定されているか。</p>
事務局	<p>学生にも入ってもらいたいと考えているので、週末の土曜、日曜の午前中がよいかと考えています。複数回あるため、日程の調整は必要ですが、いろいろな人が参加できるようにしたいので、意見を聞かせてもらい、反映できたらと思います。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症の状況によって、ワークショップが中止や延期となると計画が進まないの、オンラインでやる方法も今から考えてもらいたい。</p>
会長	<p>ほかにあれば伺いたい。 なければ、本日の議事はこれで終了とする。 事務連絡などあれば、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
会長	<p>閉会挨拶 閉会 (11:40)</p>